



社会人としての心構え

代表取締役社長
安永 暁俊

いよいよ新年度が始まりました。今年は11名の新入社員を仲間として迎え入れ、非常にうれしく思います。新しい仲間とともに、中期計画のスタートを勢いづけていきましょう。

今回は、新入社員や若手の皆さんへ、社会人としての心構えについて話します。

先輩の皆さんも、自分が入社した頃を思い出して読み進めながら、後輩へ良きお手本を示してください。

社会人とは

そもそも、学生から社会人になると、何が変わると思いますか？

それは、皆さんの立場がアマチュアからプロフェッショナルに変わります。

先輩の皆さんにとって、自分の心構えってなんですか？

社会人としての心構え

自分では特に意識していないかもしれませんが、先輩の皆さんにも、プロとしてお金を稼いできた心構えがあるはずです。

例えば、「自分は何時いかなるときも、現地現物を徹底するぞ」というのも心構えになります。

参考までに、心構えとなり得るものの一部を挙げてみます。社会人として経験を積む中で、自分に少しずつ見つけてください。

- ✓ 毎日、フレッシュな気持ちで出社する
- ✓ 毎日、メモを取る、スケジュールを管理する
- ✓ 元気よく、相手に分かりやすくしゃべる
- ✓ 話す前に、相手の立場でまず聴く
- ✓ 知らないことを吸収していく
- ✓ どんな仕事にも、興味と疑問を持つ
- ✓ 仕事は、身体で覚えるまで繰り返す
- ✓ 計画を立てて、達成することを楽しむ
- ✓ どうやったらできるか、考えに考える
- ✓ 自分の役割をまっとうする
- ✓ 他に勝つのではなく、己に勝つ
- ✓ 仕事でかく恥は気にせず、ユーモアを忘れず
- ✓ 他人への思いやりを忘れず

社会人生活を重ねることで、当初の心構えが変わることもあります。大事なことは、自分で守ろうと決めたことを日々続けることです。

皆さんご存知の通り、社会人は仕事をして報酬を得ながら生計を立てます。また、学生時代のように数年毎に、学校が変わり環境が変わるのではなく、10年、20年と続けていくこととなります。

社会人になって、勉強から解放されると感じている人もいるかと思いますが、社会人になっても研鑽を積んでいくことは必要です。

学生は、定期的に行っているテストで良い点を出すことを求められますが、社会人は毎日、仕事での成果を期待されます。

学生時代のテストには、楽勝な科目もありましたが、社会人では、楽に取り組める仕事は限られます。一つ仕事ができるようになると、次に、少し難しい仕事が出てきます。

そもその違いとして、学生はテストで問題を解いて答えを出すことを求められますが、社会人は問題そのものを発見することを期待されることもあります。

どうですか？少し重たいなと感じましたか？

プロは持続することが大切

でも、そんなに悲観することはありません。なぜなら、皆さんの周りで涼しい顔をしている先輩方も、同じ道を通ってきたからです。恐れることはありません。

皆さんが、プロの世界を生き抜くヒントとなることを、色川武大氏の『うらおもて人生録』という本から言葉を紹介しながら述べたいと思います。私自身が読んでみて、プロとしての心構えを覚えてもらいました。

学生時代のテストでも、一夜漬けより、普段からの努力をしている人の方が、結局は強いはず。プロの世界も同じです。

プロの世界で生きる

なぜ普段から努力を続ける人が強いのか？ 次の2つの理由が考えられます。

①これらの心構えを無意識に出来るようになれば、常に落ち着いて行動できるようになり、その先の行動につながられる。

②自分で決めた心構えを守ること、それを成し遂げてきた自分に自信が付き、たとえ緊張する場面でも、冷静に普段通りの力を発揮できる。

つまり、皆さんが心構えを日々実践するよう努めることで、いつの間にか大きな仕事もこなせるようになるのです。

プロとして要求される仕事のレベルは、時間とともに次のように変化します。

✓皆さんに求められる仕事は、徐々に量が増えます。初めは一つの仕事にじっくりと取り組みますが、その後、複数の仕事を同時並行でテキパキこなすことを期待されます。

一つ一つの仕事を繰り返して身体で覚えてしまえば、自然と身体が反応して完了する仕事が増えてきます。また、相手に分かりやすく話したり、相手の話を的確に聴くことができれば、職場内での勘違いや思い違いが減って意思疎通が良くなり、大量の仕事も円滑に素早くこなせます。

その中で、色川氏はこう述べています。

①「プロは、一生を通じてその仕事でメシが食えなくちゃならない。」
②「だから、プロの基本的なフォームは持続が軸であるべきだ。」

私なりに解説すると、次のようになります。

①プロというのは、成績の良し悪しが激しいと長く続けられない、瞬発力よりも持続力が大事だということ。

②持続するためには、自分のフォームを大事に育てるべき、それが生き方の軸になるということ。

では、この『フォーム』とは何でしょうか？

プロスポーツ選手のフォームや、伝統芸能、職人技などは分かりやすい形です。

フォームというのは、これら技術や技能の形に加えて、それに至るまでの毎日の過ごし方や心構えなども指します。

新入社員の皆さんにとっての心構えとは、「朝早く出社しよう」「自分から挨拶しよう」「分からぬ所はすぐ先輩に尋ねよう」といった初歩的なことから始まります。

心構えといっても、単なるわがままで、周りの不評を買うものはいけません。

先輩の皆さんにとっての心構えとは、今日まで自分が、これを守ってきたからこそ仕事で成果を出してきた、そのどうしても守らなければならぬ軸のことです。
あんまり些細なことではなく、自分を律してくれるだけの重みがなければいけません。

✓皆さんに求められる仕事は、徐々に複雑になります。初めは一人で完結する仕事ですが、その後、社内外の複数の方と話しあって仕事を切り盛りすることを期待されます。

メモを取ってスケジュール管理をすることで、複雑な仕事を抜け漏れなく進められます。チームで仕事を行う時は、より効果的です。また、計画を何度も立てることで、全体のどこに障害があるのか明らかになり、複雑な仕事を滞りなく対処できるようになります。

✓皆さんに求められる仕事は、徐々に難しくなります。初めは単純なミスをなくすことに取り組みますが、その後、製品を取り巻く複数の条件を調整しながら、全体最適となる解を出して、生産性を高めていくことを期待されます。

簡単な仕事でも、興味と疑問を持って眺めることで、自分なりの解決を思いつきやすくなります。また、どうやったらできるか、考えに考えることで、短時間で、集中して深く考えることができます。高度な仕事でも、一つずつ興味と疑問を重ねて、考えに考えれば解決できます。

長い社会人生活で道に迷うこともあるかもしれませんが、そんな時も、自分の心構えを軸に実力をつけることで必ず打開できると思います。

皆さんの心構えが、長い社会人生活で着実に成長していく支えになれば幸いです。

参考文献 うらおもて人生録 色川武大著